

「Ⅲ 食品健康影響評価を担う若手専門家の育成枠」に応募する場合は、「若手育成枠」の下有空欄にチェックを入れてください。「若手育成枠」として応募する場合は、「令和9年度公募課題における該当項目」は空欄で構いません。

別紙様式 1

研究計画調書

番号	令和9年度公募課題における該当項目（※別紙1に基づき記載すること）	若手育成枠
記入不要	I-2 健康影響発現メカニズムを踏まえた新たな評価系の構築 (1) 食品中の化学物質・汚染物質の健康影響発現メカニズムに関する研究	

研究課題名	●●●●●の●●●●●に関する研究		
研究種目等			
研究期間	令和9年度 ～ 令和 10 年度（2年間）		
分野			
分科			
細目	「研究種目等」、「分野」、「分科」、「細目」 「細目表キーワード」及び「細目表以外のキーワード」について、この様式には記入不要です。 e-Rad のシステム入力時に求められる場合は、適宜入力してください。		
細目表キーワード			
細目表以外のキーワード			
主任研究者氏名	(フリガナ)	キョウキン タロウ	
	(漢字等)	競金 太郎	
研究者番号	12345678		
所属研究機関	競金大学		
部局	大学院生物科学研究院		
職名	教授		
住所	〒111-1234 東京都●●区●●1-2-3		
電話番号	000-123-4567		
E-mail	●●●●@●●●.jp		
経理事務担当者氏名	管理 達也	経理担当部局名・連絡先等	競金大学管理部●●課 電話番号：03-9876-5432 E-mail：●●●●@●●●.jp
分担研究者氏名	(フリガナ)	ガクシン ハナコ	
	(漢字等)	学振 花子	
研究者番号	98765432		
所属研究機関	国立食品安全研究所		
部局	食品安全部第四室		
職名	室長		
住所	〒222-2345 千葉県●●市●●2-3-4		
電話番号	04-2345-6789		
E-mail	●●●●@●●●.jp		
経理事務担当者氏名	経理 有美	経理担当部局名・連絡先等	国立食品安全研究所総務部●●課 電話番号：04-9876-5432 E-mail：●●●●@●●●.jp

※分担研究者は人数に応じて適宜記入欄を追加すること。

<全体>

主任研究者分と分担研究者分を合算した額を記入してください。

大項目		中項目	9 年度	10 年度	11 年度	計
直接経費	1. 物品費	設備備品費	1, 000	0		1, 000
		消 耗 品 費	2, 000	3, 000		5, 000
	2. 旅 費	旅 費	2, 000	2, 000		4, 000
	3. 人件費・謝金	人 件 費	3, 500	4, 500		8, 000
		謝 金	1, 500	500		2, 000
	4. その他	外 注 費	1, 000	500		1, 500
		そ の 他	1, 000	1, 500		2, 500
間接経費 (上記経費の 30%以内)			3, 000	3, 000		6, 000
合 計			15, 000	15, 000		30, 000

(注) 不要な年度の記入欄には、斜線を引くこと。

<主任研究者分>

(単位：千円)

大項目		中項目	9 年度	10 年度	11 年度	計
直接経費	1. 物品費	設備備品費	1,000	0		1,000
		消耗品費	1,500	2,500		4,000
	2. 旅 費	旅 費	1,000	1,000		2,000
	3. 人件費・謝金	人 件 費	3,000	3,000		6,000
		謝 金	500	500		1,000
	4. その他	外 注 費	0	500		500
		そ の 他	500	0		500
間接経費 (上記経費の 30%以内)			2,000	2,000		4,000
合 計			9,500	9,500		19,000

不要な記入欄には
斜線を引いてください。

< 分担研究者分 : ○○ ○○ >

(単位 : 千円)

大項目		中項目	9 年度	10 年度	11 年度	計
直接経費	1. 物品費	設備備品費	0	0		0
		消耗品費	500	500		1,000
	2. 旅 費	旅 費	1,000	1,000		2,000
	3. 人件費・謝金	人 件 費	500	1,500		2,000
		謝 金	1,000	0		1,000
	4. その他	外 注 費	1,000	0		1,000
		そ の 他	500	1,500		2,000
間接経費 (上記経費の 30%以内)			1,000	1,000		2,000
合 計			5,500	5,500		11,000

(注) 分担研究者分の記入欄は、分担研究者の人数に応じて適宜追加すること。

不要な記入欄には
斜線を引いてください。

研究組織（主任研究者及び分担研究者）

	氏名（年齢） 研究者番号	所属研究機関 部局 職名	現在の専門 学位（最終学歴） 役割分担	初年度 研究経費 （千円）	エフ ォ ー ト （%）
主任研究者	競金太郎 (51) 12345678	競金大学	生物工学	9,500	30
		大学院生物科学研究 院	博士（生物科学）（競 金大学）		
		教授	研究統括		
分担研究者	学振花子 (49) 98765432	国立食品安全研究所	分析化学	5,500	20
		食品添加物部第四室	博士（理学）（学振大 学）		
		室長	検体分析		
		・ 氏名欄には、研究者番号（8桁）を忘れずに記入してください。 ・ 研究経費欄には、研究初年度の研究経費額（間接経費を含む。）を記入してください。 ・ 不要な記入欄には斜線を引いてください。 ・ 本欄に記入した研究者の総数及び研究経費の合計額を、本表最下部にそれぞれ記入してください。			
計	2名				

委託研究の実施体制（研究項目別に記載）

研究項目ごとに責任者（主任研究者又は分担研究者）、研究協力者、研究参加者の氏名、研究機関名・所属・役職名、実施内容を一覧にまとめ、体制図を添付してください。

研究項目 No.	研究機関名・所属・役職名	氏名	実施内容
1	競金大学・大学院生物科学研究 院・教授	競金太郎	〇〇の検証
2	国立食品安全研究所・食品添 加物部第四室・室長	学振花子	●●の分析

体制図

- ・ 必要に応じて行を追加ください。
- ・ 体制図は任意様式です。

応募内容ファイル

黒枠の注釈は、枠ごと削除した上で記入してください。

1 研究目的

本欄には、研究の背景及び具体的な目的について、冒頭にその概要を記入した上で、適宜文献を引用しつつ記入してください。なお、概要については、審査の際に使用するほか、採択が決定した際に食品安全委員会ウェブサイト等で公表します。

また、次の点については、項目を分けた上で具体的かつ明確に記入してください。

- ① リスク評価への必要性及びリスク評価に期待される効果
- ② 達成目標（研究全体を俯瞰し、研究期間内に何をどこまで明らかにするかを箇条書き形式で記入してください。この達成目標は、中間評価及び事後評価の際に利用されます。）
- ③ 得られた成果をいつどのような方法で公表する予定であるかを記入してください。

（概要）（※300字以内）

.....については、.....であり、.....することになっている。

本研究では、.....により、.....するとともに、.....することを目的とする。

（本文）（※800字以内）

.....では.....であり、.....するとされている。.....は.....であるが、.....することになっている。この.....を.....するためには、.....が必要である、しかしながら、.....は.....であるなど、多くの課題がある。

一方で、.....は.....であり、.....することが期待されている。

このような背景を踏まえ、本研究では、.....して.....を行うとともに、.....により.....を行い、.....を明らかにする。

（リスク評価への必要性及びリスク評価に期待される効果）（※600字以内）

.....については.....であるが、.....になっており、.....することが求められている。また、.....においても.....することとされており、.....することが課題となっている。

本研究では、.....を検討し、.....することにより.....され、ひいては.....のリスク評価に大いに寄与することが期待される。

（達成目標）（※目標毎に100字以内）

- 1)により、.....を確立する。
- 2)により、.....を整備する。
- 3)により、.....の安全性評価を行う。

（得られた成果の公表）

「Food Safety（食品安全委員会英文ジャーナル）」に●年以内に投稿予定

2 研究計画・方法

本欄には、研究目的を達成するための具体的な研究計画及び方法について、冒頭にその概要を簡潔にまとめて記入した上で、年度毎の計画に分けて（単年度の計画の場合は当該年度のみ）、各研究項目の責任者（主任研究者又は分担研究者）を明記し、その進捗予定がわかるように具体的かつ明確に記入してください。研究計画を遂行するための研究体制について、主任研究者及び分担研究者の具体的な役割や分担して研究することの必要性・妥当性についても記入してください。また、研究協力者又は研究参加者の具体的な協力又は参加内容についても記入してください。（※図表を含めてA4サイズ2枚。ただし、必要に応じて1枚追加すること（計3枚以内とすること）は可能。）

（概要）

.....を目的とした.....を確立するため、.....により.....を行い.....を検証するとともに、.....により、.....する。

【令和9年度】

1.の検討

（1）●●●●●の実施

.....
.....
.....
.....
.....



図1：●●●●●のモデル

（2）●●●●●の確認

.....
.....

2. ●●●●●の確立

（1）●●●●●の検討

.....
.....

【令和10年度】

1.の検証

（1）●●●●●の分析

.....
.....

（2）●●●●●の確認

.....
.....

2. ●●●●●の実施

（1）●●●●●の比較

.....
.....

（2）●●●●●の検討

.....
.....

3 研究業績

黒枠の注釈は、枠ごと削除した上で記入してください。

本欄には、これまでに発表した論文、著書、産業財産権（特許出願番号等）、招待講演のうち、本研究に関連するものを選定し、researchmap からコピーするなどの方法により、現在から順に発表年次を過去にさかのぼって記入してください。なお、学術誌へ投稿中の論文を記入する場合は、掲載が決定しているものに限ります。

研究業績については、主に過去 5 年間の業績を中心に記入してください。ただし、それ以前の業績であっても、本研究に深く関わるものやこれまでに発表した主要な論文等を記入しても構いません。

例えば発表論文の場合、論文名、著者名、掲載誌名、査読の有無、巻、最初と最後の頁、発表年（西暦）について記入してください。以上の各項目が記入されていれば、項目の順序を入れ替えても構いません。著者名が多数にわたる場合は、主な著者を数名記入し以下を省略（省略する場合、その員数と、掲載されている順番を○番目と記入）しても可とします。

【主任研究員：競金太郎】

Food Safety is a peer-reviewed open-access electronic online journal of English published quarterly by the Food Safety Commission of Japan (FSCJ).

Food Safety 122(4) 81-1-81-6 2021 年 5 月（査読有）

Estimated Intake of Trans Fatty Acids in Food.

Food Safety 55(5) 1164-1169 2023 年 3 月

主任研究者と分担研究者それぞれの業績について記載してください。

【分担研究者：学振花子】

Food Safety is a peer-reviewed open-access electronic online journal of English published quarterly by the Food Safety Commission of Japan (FSCJ).

Food Safety 122(4) 81-1-81-6 2021 年 5 月（査読有）

Estimated Intake of Trans Fatty Acids in Food.

Food Safety 55(5) 1164-1169 2023 年 3 月

黒枠の注釈は、枠ごと削除した上で記入してください。

4 研究費の応募・受入等の状況・エフ

本欄には、本応募課題の主任及び分担研究者の応募時点における、(1) 応募中の研究費、(2) 採択されている研究費、(3) その他の活動について、次の点に留意し記入してください。なお、複数の研究費を記入する場合は、線を引いて区別して記入してください。

- ① 「エフォート」欄には、年間の全仕事時間を 100%とした場合、そのうち当該研究の実施等に必要となる時間の配分率(%)を記入してください。
- ② 「応募中の研究費」欄の先頭には、本応募研究課題を記入してください。
- ③ 「(3) その他の活動」欄には、(1) 応募中及び(2) 採択されている研究費による研究活動以外の職務として行う研究活動や教育活動等のエフォートを記入してください。
- ④ 下記(1)、(2)、(3)のエフォートの合計は100%にしてください。
- ⑤ 必要に応じて行を挿入してください。また、不要な行は削除してください。

<主任研究者>

(1) 応募中の研究費(令和○年○月○日時点)

資金制度・研究費名 (研究期間・配分機関等名)	研究課題名 (主任研究者氏名)	役割 (主任・分担 の別)	当該年度の 研究経費 (期間全体の額) (千円)	エフォ ート(%)	研究内容の相違点及び他の 研究費に加えて本応募研究 課題に応募する理由
【本応募研究課題】 (R9～R10)	●●と▲▲の相関 に関する実験的研究 (競金太郎)	主任	9,500 (19,000)	30	(総額 30,000 千円)
令和9年度●●財団 研究助成金 (R9・●●財団)	●●と▲▲の■ への依存性に関する 調査研究 (学振花子)	分担	3,000 (10,000)	20	本研究とは××の視 点から調査する意味 で異なり、本応募研 究により統合的に理 解が進むため。 (総額 30,000 千円)

(2) 採択されている研究費(実施中の研究費・実施予定の研究費)(令和○年○月○日時点)

資金制度・研究費名 (研究期間・配分機関等名)	研究課題名 (主任研究者氏名)	役割 (主任・分担 の別)	当該年度の 研究経費 (期間全体の額) (千円)	エフォ ート(%)	研究内容の相違点及び他の 研究費に加えて本応募研究 課題に応募する理由
令和8年度●●財団 研究助成金 (R8～R9・●●財 団)	××と■の研究 (競金太郎)				本研究とは××の視 点から調査する意味 で異なり、本応募研 究により統合的に理 解が進むため。 (総額 20,000 千円)

(3) その他の活動 エフォート: 30 %

期間全体の額は当該資金制度でのご自身の研究費の総計を、
総額の欄には主任・分担含めた機関全体の研究費の総計を
記載してください。

エフォート合計が 100%を超えないように注意してください。

(1)応募中の研究費(令和〇年〇月〇日時点)

主任研究者分と同様に記入してください。

資金制度・研究費名 (研究期間・配分機関等名)	研究課題名 (主任研究者氏名)	役割 (主任・分担 の別)	当該年度の 研究経費 (期間全体の額) (千円)	エフォ ート(%)	研究内容の相違点及び他 の研究費に加えて本応募 研究課題に応募する理由
【本応募研究課題】 (R 9 ～ R)	()		()		(総額 千円)
	()		()		(総額 千円)

資金制度・研究費名 (研究期間・配分機関等名)	研究課題名 (主任研究者氏名)	役割 (主任・分担の別)	当該年度の 研究経費 (期間全体の額) (千円)	エフォ ート(%)	研究内容の相違点及び他 の研究費に加えて本応募 研究課題に応募する理由
	()		()		(総額 千円)
	()		()		(総額 千円)

(3)その他の活動 エフォート: ●%

黒枠の注釈は、枠ごと削除した上で記入してください。

5 これまでに受けた研究費とその成果等

本欄には、主任研究者及び分担研究者がこれまでに受けた研究費（所属研究機関より措置された研究費、府省・地方公共団体・研究助成法人・民間企業等からの研究費等。なお、現在受けている研究費も含む。）による研究成果等のうち、本研究の立案に生かされているものを選定し、当該資金制度とそれ以外の研究費に分けて、次の点に留意してください。

- ① それぞれの研究費毎に、資金制度名、期間（年度）、研究課題名、研究代表者又は研究分担者の別、研究経費（直接経費）を記入の上、研究成果及び中間・事後評価（当該研究費の配分機関が行うものに限る。）結果を簡潔に記入してください。
- ② 当該資金制度とそれ以外の研究費は区別して記入してください。

<主任研究者：競金太郎>

【食品健康影響評価技術研究】

- （１）R3～R4、「●●に関する研究」、代表、10,000 千円

研究成果：・・・・・・の成果を得た。

中間評価結果：・・・・・・する必要がある。

事後評価結果：・・・・・・が明らかになったことは、・・・・・・の点で有用である。

- （２）H29～H30、「●●に関する研究」、分担、5,000 千円

研究成果：・・・・・・の成果を得た。

中間評価結果：・・・・・・する必要がある。

事後評価結果：・・・・・・が明らかになったことは、・・・・・・の点で有用である。

【上記以外の研究費】

- （３）科研費（基盤研究（B））、R2～R3、「●●に関する研究」、代表、20,000 千円

研究成果：・・・・・・の成果を得た。

評価：実施せず

<分担研究者：学振花子>

【食品健康影響評価技術研究】

- （１）R3～R4、「●●に関する研究」、代表、10,000 千円

研究成果：・・・・・・の成果を得た。

中間評価結果：・・・・・・する必要がある。

事後評価結果：・・・・・・が明らかになったことは、・・・・・・の点で有用である。

- （２）H27～H28、「●●に関する研究」、分担、5,000 千円

研究成果：・・・・・・の成果を得た。

中間評価結果：・・・・・・する必要がある。

事後評価結果：・・・・・・が明らかになったことは、・・・・・・の点で有用である。

【上記以外の研究費】

- （３）厚生労働科学研究費補助金、H30～R2、「●●に関する研究」、

代表、20,000 千円

研究成果：・・・・・・の成果を得た。

中間評価結果：・・・・・・する必要がある。

事後評価結果：・・・・・・が明らかになったことは、・・・・・・の点で有用である。

6 倫理面への配慮

黒枠の注釈は、枠ごと削除した上で記入してください。

本欄には、研究対象者に対する人権擁護上の配慮、研究方法による研究対象者に対する不利益、危険性の排除や説明と理解（インフォームド・コンセント）に関わる状況、実験動物に対する動物愛護上の配慮などについて、所属機関の規定や審査の有無等を含め記入してください。倫理面の問題がないと判断した場合には、理由と併せてその旨記入してください。

本研究では、・・・・・・を行うにあたり、・・・・・・が必要とされるため、・・・・・・の研究倫理委員会の承認を得た上で、「・・・・・・に関する法律」及び・・・・・・則に則り実施する。

また、・・・・・・については、・・・・・・の動物実験倫理委員会の承認を得た上で、・・・・・・の規則に則り実施する。

黒枠の注釈は、枠ごと削除した上で記入してください。

7 研究経費の費目別内訳

当該研究計画に必要な研究経費について、年度別に以下記載の費目毎に品名（事項）及び金額（千円単位）を記入してください（千円未満の端数は切り捨ててください）。3年間以上の研究の場合は、費目ごとに適宜行を追加の上記入してください。

若手研究者の自発的な研究活動等に係る人件費、大学院生（特に博士課程（後期）学生）に対する RA 経費、主任研究者の人件費及び主任研究者の研究以外の業務の代行に係る経費（パイアウト経費）の支出を計画している場合は、各費用を記入してください。また、主任研究者の人件費の支出に関しては、適正執行のための体制整備状況、学内規程及び活用方針を提出してください。

<主任研究者>

(1) 設備備品費

年度	品名・仕様（数量×単価）	金額（千円）
9	●●●●機器（ABC-1） 1台×500千円	500
	計	500
10	なし	0
	計	0

※耐用年数1年以上かつ取得価格が10万円以上の物品で、本委託研究で使用するものに限りします。

使用する期間が短期間で、レンタル、リース等により委託期間中の支払総額が、購入金額を下回る場合には、経済性の観点からそれらの方法を選択してください。リース等により調達した物品のリース料等については、委託期間中のリース等に要する費用のみ計上することができます。（リース等に要する費用は「（5）その他」に計上してください。）。

なお、物品を購入又はリースする場合は、契約書の物品購入計画又は物品リース計画に事前に記載することになりますので、その際に購入又はリースになった理由を確認させていただきます。

(2) 消耗品費

年度	品名	金額（千円）
9	●●●●試薬	500
	●●●●器具	100
	計	600
10	●●●●試薬	300
	●●●●器具	200
	計	500

(3) 人件費・謝金

年度	事項	金額（千円）
9	研究補助員×1名（8千円／日×15日×12か月）	1,500
	研究補助（RA）×1名（2.5千円／時×50h×12か月）	1,500
	研究協力者謝金（5千円×100名）	500
	計	3,500
10	研究補助員×1名（8千円／日×15日×12か月）	1,500
	研究補助（RA）×1名（2.5千円／時×50h×12か月）	1,500
	研究協力者謝金（5千円×100名）	500
	計	3,500

(4) 旅費

年度	事項	金額（千円）
9	研究班会議（大阪）× 2 名 × 3 回	150
	北海道実証試験出張 × 1 名	100
	●●●学会（情報収集）（愛媛）× 2 名	150
	●●●●学会（成果発表）（米国）× 1 名	600
	計	1,000
10	研究打合せ（神奈川）× 2 名	10
	計	10

(5) その他※

年度	事項	金額（千円）
9	検体送料（通信運搬費）	360
	論文投稿料（その他諸経費）	80
	消費税相当額	60
	計	500
10	●●●●分析（外注費）	500
	計	500

※外注費、印刷製本費、会議費、通信運搬費、光熱水料、その他（諸経費）及び消費税相当額をいいます。

※物品をリース等で調達する場合、リース料算定の基礎となるリース期間は、原則、減価償却資産の耐用年数等に関する省令（昭和 40 年大蔵省令第 15 号）に定められた期間（法定耐用年数）又はそれ以上としてください。そのリース期間が事業期間を上回り、事業終了後も使用する場合は、事業終了後にかかるリース費用については、自己負担になります。

<分担研究者：学振 花子>

← 分担研究者名を記入の上、主任研究者分と同様に記入してください。

(1) 設備備品費

年度	品名・仕様 (数量×単価)	金額 (千円)
9		
	計	
10		
	計	

※耐用年数1年以上かつ取得価格が10万円以上の物品で、本委託研究で使用するものに限りします。

使用する期間が短期間で、レンタル、リース等により委託期間中の支払総額が、購入金額を下回る場合には、経済性の観点からそれらの方法を選択してください。リース等により調達した物品のリース料等については、委託期間中のリース等に要する費用のみ計上することができます。（リース等に要する費用は「(5) その他」に計上してください。）。

なお、物品を購入又はリースする場合は、契約書の物品購入計画又は物品リース計画に事前に記載することになりますので、その際に購入又はリースになった理由を確認させていただきます。

(2) 消耗品費

年度	品名	金額 (千円)
9		
	計	
10		
	計	

(3) 人件費・謝金

年度	事項	金額 (千円)
9		
	計	
10		
	計	

(4) 旅費

年度	事項	金額（千円）
9		
	計	
10		
	計	

(5) その他※

年度	事項	金額（千円）
9		
	計	
10		
	計	

※外注費、印刷製本費、会議費、通信運搬費、光熱水料、その他（諸経費）及び消費税相当額をいいます。

※物品をリース等で調達する場合、リース料算定の基礎となるリース期間は、原則、減価償却資産の耐用年数等に関する省令（昭和 40 年大蔵省令第 15 号）に定められた期間（法定耐用年数）又はそれ以上としてください。そのリース期間が事業期間を上回り、事業終了後も使用する場合は、事業終了後にかかるリース費用については、自己負担になります。

「食品健康影響評価を担う若手専門家の育成枠」の応募者用様式

「食品健康影響評価を担う若手専門家の育成枠」への応募者は、以下の該当するチェック欄にチェックを付け、応募条件の年月日等を記入の上、該当する添付書類を添付してください。

主任研究者（令和 9 年 4 月 1 日時点）

← 主任研究者の情報を記入してください。

チェック欄	応募条件	添付書類
✓	男性の場合は満 40 歳未満の者、女性の場合は満 43 歳未満の者 (生年月日：昭和 6 2 年 4 月 1 8 日)	生年月日が確認できる公的書類の写し
	上記以外で、博士号取得後 10 年未満の者 (博士号取得日： 年 月 日)	博士号取得の年月日が確認できる書類
	産前・産後休業又は育児休業をとった者 (加算する日数： 日)	産前・産後休業又は育児休業の取得日数が確認できる所属機関の証明書等（様式自由）

※ 応募条件

令和 9 年 4 月 1 日時点において、主任研究者の年齢が、男性の場合は満 40 歳未満の者（昭和 62 年 4 月 2 日以降に生まれた者）、女性の場合は満 43 歳未満の者（昭和 59 年 4 月 2 日以降に生まれた者）、又は博士号取得後 10 年未満の者。ただし、産前・産後休業又は育児休業をとった者は、満 40 歳未満又は満 43 歳未満の制限に、その日数を加算することができる。